

警察庁 東北管区警察局

情報通信部

犯罪はニュースの中だけじゃない。
技術で、被害者を一人でも減らしたい。



Q なぜ国家公務員、 そして警察庁を志したのですか

私は工業高校の機械科出身で、周りの友達もほとんどが就職を選んでいました。

学校の先生から「公務員という道もあるよ」と強く勧められて、公務員試験に挑戦してみたのが最初のきっかけです。

当時は、正直「国家公務員」や「省庁の違い」について深く理解していたわけではありませんでしたが、採用案内の電話をいただいたこと、また親戚の中に警察関係の仕事をしている人がいたことから、警察庁（東北管区警察局）に決めました。

Q 所属している部署と、 現在の担当業務を教えてください

東北管区警察局情報通信部は、警察無線をはじめとした警察情報通信分野の中核を担っています。出先機関である各県情報通信部を指導・調整し、重大事件や災害時には技術部門の司令塔として現場を支え、また、サイバー捜査の技術的な支援も行っています。

私は、県警察が事件捜査で押収したスマートフォンやパソコンなどから、電子データを抽出・可視化する解析業務を担当しています。犯罪に関与している可能性のあるデータを解析し、それが裁判の証拠として使われることもあります。





Q 仕事のやりがいや、技術系職員ならではの面白さを教えてください



解析するデータの中には、「匿名・流動型犯罪グループ(トクリュウ)」や薬物関連事犯に関わるものも多くあります。それらを見ていると、何の罪もない人のお金や財産、時には命まで奪ってしまう犯罪に、強い怒りを覚えます。これまで「犯罪」はニュースの中の出来事だと思っていましたが、実際はとても身近なところで起きていると実感しました。

自分の技術で犯罪の実態解明に少しでも貢献し、被害に遭う方を一人でも減らせることに、大きなやりがいを感じています。

一方で、加害者となる人の中にも、もともとは普通の生活を送っていたのに、間違った道に「巻き込まれて」しまったケースが多くあります。そのような人を生まない社会につなげていくことも、この仕事の大切な役割だと思っています。

Q 入庁前のイメージと、実際に働いてみて感じたギャップはありますか

警察と聞くと、堅くて厳しい雰囲気を実感する人も多いと思いますが、実際は全く違いました。

職場は明るく、課内のコミュニケーションも活発で、分からないことがあればすぐに相談できます。そのおかげで、ミスやトラブルが起きる前に対処でき、安心して仕事に取り組んでいます。

また、休暇も取りやすく、趣味と仕事を両立できる環境が整っているのも魅力です。





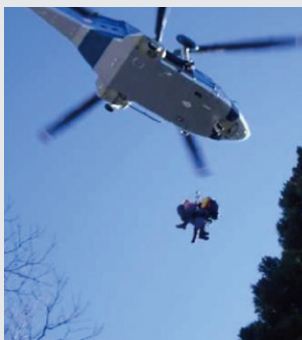
「令和6年能登半島地震」に伴う警察活動状況

停電している中、警察活動を維持するため、道路が寸断され徒歩による上山もできない無線中継所へ、ヘリによる燃料搬送を実施。

Q 能登半島地震では、機動警察通信隊として出動されたそうですが、この時の業務内容を教えてください

機動警察通信隊は、災害や重大事案の現場で警察通信を確保し、カメラやドローンで撮影した映像を現地指揮本部や警察庁に伝送する部隊です。

当時は停電が続く中で、通信を途切れさせないため、軽油の入った携行缶を背負って、山の上にある無線中継所まで運ぶ任務を担当しました。通信設備を動かすためのディーゼル発電機を止めないことが、現場全体を支えることにつながっていました。学生時代は山岳部だったので、山を登る体力が役立った場面でもありました。



ヘリからホイストを使い降下。
※ホイスト降下訓練は、定期的に実施。



被災状況を把握するための撮影及び対策本部等への映像伝送。



道路が寸断された無線中継所へ徒歩による燃料搬送を実施。

Q 今後、どんな未来を描いていますか

新しい技術は次々に生まれていますが、それは良い方向にも悪い方向にも使われます。だからこそ、自分自身の知識や技術も常にアップデートし続けなければならないと感じています。

情報技術に関する資格の取得や研修を通じて、より多くの業務に携われるようになり、技術の力で犯罪被害を減らしていきたいです。目指すのは、「犯罪のない世界」です。





Q

国家公務員を目指す方へメッセージをお願いします

私自身、専門知識もなく、パソコンもほとんど触ったことがありませんでした。初任給で初めてパソコンを買ったくらい、ゼロからのスタートです。それでも、仕事を通じて確実に成長を実感できています。

国家公務員の仕事は本当に多彩で、きっと自分の興味にフィットする分野が見つかります。

そして、それをとことん突き詰めていくことができます。

「ゼロからでも大丈夫」。少しでも興味があれば、ぜひ挑戦してみてください。



Mission
is
the
Future

使命は、未来。
よりよい明日を創る仕事。

警察庁

東北管区警察局

情報通信部